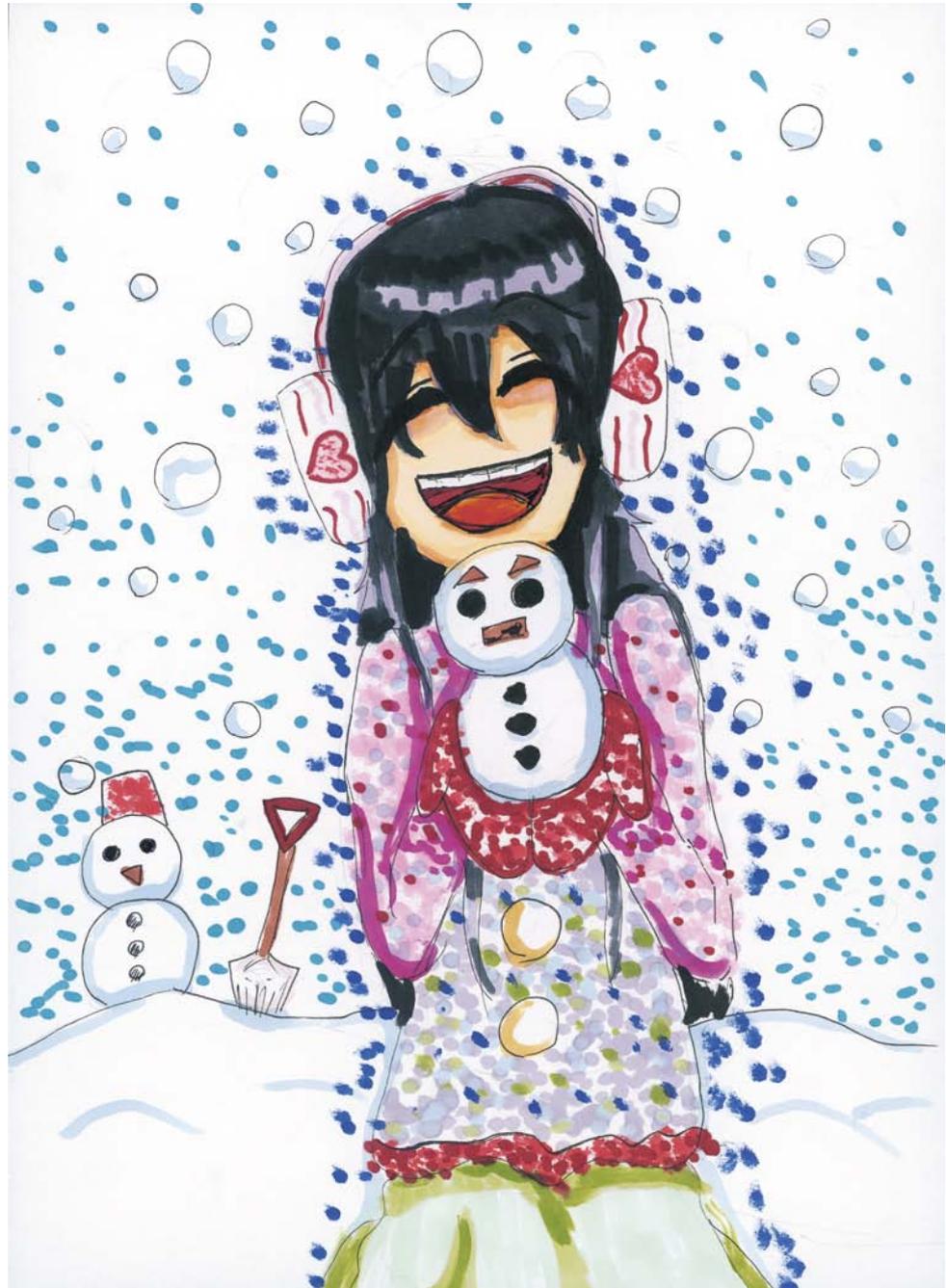


市議会だより



「雪あそび」

絵画 原田 璃美さん(阿野町)

令和元年 12月定例会議会

あんない

12月定例会議会	P2~P3
討論(議案等に対する意見)	P4~P6
一般質問(個人17名)	P7~P15
議員合同研修会	P16
委員会行政視察	P16~P17
議員報告会	P18~P19
意見交換会	P19
議会の活動状況	P20

表紙写真・絵画募集中!

次回の締切は3月6日(金)です。

編集 議会だより編集委員会
発行 豊明市議会事務局(0562-92-1121)



議案等に対する

討 論

12月定例会議会の最終日に各会派等の意見を代表して賛成・反対討論を行いました。
(文責は各会派にあります。)

◆清和◆ 豊明市一般会計補正予算(第6号)について賛成

○繰越明許費の中でも、小中学校の音楽室、配膳室のエアコン設置、三崎小学校の放課後子ども教室のエアコン設置などの項目は、子どもたちが健康やかに学校生活を営む環境整備の推進となりますので、暑さが来る前の設置完了をお願いします。

○本市には約43万国、3000人を超える外国籍の方が居住されています。3月から通訳を入れての三者間通話が可能となること、およびタブレット自動翻訳機の導入により、窓口での受付や相談等の対応の一助となることを期待しています。

○児童館や児童クラブの指定管理については、市民サービスが下がると異論のある方がいますが、質のよい業者を選定することこそが、市民から求められていることで、指定管理者制度を導入することにより、今まで以上のサービスの向上が見込まれると考えます。

○桜ヶ丘沓掛線改良事業の工事で発生したと思われる補償に關し、約款に従い、市が責任を持って早急に実施してもらいたい。長期にわたり施工された大規模な築造工事でしたので、適正な補償費を算定し、一刻も早く補償契約を進めてもらいたいと思います。

○財政調整基金は積み増しができ、約37億円となりました。財政調整基金は家庭でいう預貯金です。○いずれも本市において必要で賛成いたします。

◆清風◆ 議案第93号令和元年度豊明市一般会計補正予算(第6号)に賛成

まず、心身障害児者扶助事業の自立支援医療費、訓練等給付費、介護給付費、地域生活支援費及び福祉医療事業の福祉医療助成費並びに生活保護費扶助事業の医療扶助費は、共に給付見込額の増額予算と判断します。

三崎児童クラブ、吉池児童クラブの整備工事は、緊急性の高い営繕工事なので、速やかに進めるよう要望します。

心身障がい児通所・居宅サービス事業費は、サービスの増加に伴う増額、児童扶養手当費は、支払回数の変更に伴う増額予算と判断します。

施設型・地域型保育給付事業整備補助金は、働きながら子育てしやすい環境の構築のため、小規模保育事業所設置者に財政支援を行うもので、速やかに事業実施ができるよう取り組んでほしい。

桜ヶ丘沓掛線改良事業における調査測量設計等委託を速やかに進め、関係住民への適切な対応をお願いいたします。

小・中学校施設維持管理事業として、各学校の音楽室と配膳室にエアコンの設置を進めていくことを評価するとともに、今後も学校の環境整備に努めるようお願いいたします。また、小学校の新学習指導要領関連教科書等を購入し、児童の教育振興を図っていくようお願いいたします。

いずれも必要に応じた予算ですので賛成します。

◆市民派の会◆

臨時職員の処遇改善、豊明市下水道事業の設置に要望を付し賛成、一般会計補正予算、東部保育園の廃止に反対

●会計年度任用職員に関する条例の制定で、臨時職員の待遇改善が図られることは評価する。

しかし、給与は正職員と大きな格差があり、引下げとなる職員も生じること、勤務時間が正職員より15分少ないだけでパートとなり、共済組合加入や退職金給付の道が閉ざされるのは問題。引き続き改善に努めてほしい。

●下水道事業については、地方公営企業法の適用で収入と費用がわかりやすくなるが、農村集落家庭排水を含めるならば、市街化区域の住民に不平等処理の負担が行かないよう、対策をしっかりと行っ

てほしい。

都市計画税についても、会計のなかで適切に区分

◆未来クラブ◆

児童館指定管理・会計年度任用職員・一般会計補正予算に賛成

▼指定管理者制度は、経費を削減しながら、限られた職員数で、必要十分な行政サービスを提供していくために民間活力を導入する手法であり、いずれの指定管理者候補も児童館運営や子育て関連の実績が多くあること、事業計画書には地域の子どもたちを地域で育てることへの具体策が示されていることなど、児童館運営のさらなる充実が期待できることから賛成。

▼現在の非常勤一般職員の方々は会計年度任用職員へ移行。期末手当(ボーナス)が支給され、年収ベースでは、ほとんどの人が現状と同額もしくは増額になるとのこと。移行によって増額する人件費は約1億1400万円。これらの労働条件などについては妥当な処遇と判断し賛成。

▼一般会計補正予算について、民生費は、毎年億単位で予算の追加が見られる。健康寿命の延伸による社会保障給付費の抑制、介護予防事業の充実を求める。また、貧困の連鎖を防ぐため生活保護及び生活困窮世帯を対象とした学習支援事業の実施等、必要性の高い施策への重点化を要望する。

教育費、エアコン未設置の音楽室、給食配膳室への設置であり必要。桜ヶ丘沓掛線改修工事起因する工事区域から40m内にある住宅の変状への補償費算定について、定款に基づき市が負担すべき。よって賛成とする。

◆公明党◆

一般会計補正予算について賛成

このたびの補正予算は例年と異なります清算的な予算を除きますと、その多くが子どもに関する予算となっております。

これは、何よりも子どもを優先するという強いメッセージが込められていると理解しています。

債務負担行為で、複数年での「児童クラブ業務委託」と「児童館の指定管理」についての提案がされました。コストを抑制しながら、本質的な目的であるサービスの質の向上を実現してください。

コスモス児童館についても指定管理となります。内容の管理についても特にしっかりと見ていただくようお願いをしておきます。

また総務費で、急増している外国籍市民に対応するための通訳に関する予算が提案されました。これまで言葉の壁により、行政サービスの説明が難しくなった方に、十分なアフターケアを行ってください。現場で戸惑わないようしっかりと準備をお願いいたします。

教育費では歳入として、プレクラス・プレスクール事業への市内企業様から4年連続の寄附金です。子どもたちの教育環境を高めていくことは将来の本市の目指すべき姿であると思います。

子どもたちの成長と住民福祉の向上、安全安心な魅力あるまちを目指した真に必要な補正予算であると判断して賛成いたします。

◆日本共産党◆

議案第81号から83号、児童館の指定管理者の指定について反対
議案第93号、令和元年度豊明市一般会計補正予算第6号に賛成

議案第81号から83号は児童館の指定管理者を指定するものだが、児童館は子どもが放課後に遊ぶなどを通じて健全に育つことを推進すると共に、子ども会の育成も担っている。地域づくりに繋が

る事業は直営ですべき。また、児童館で行われている放課後児童健全育成事業についても民間の事業者が行うことになるが、子どもの健康管理・安全確保・情緒の安定のため、子どもの心理を理解して

育てることが出来る職員の配置が必要。放課後児童支援員の配置基準を堅持し、待遇改善に努めるためにも直営に戻すべきと考え反対。

一般会計補正予算第6号の小中学校音楽室へのエアコン設置費、吉池児童クラブを設置するための工事費は必要。37億円に増えた財政調整基金の有効活用を求めて賛成。

◆たんぼぼ◆

一般会計補正予算は反対。振動検査3日間のみで市が損害補償費を全額負担

桜ヶ丘沓掛線改良工事完了後の事後調査で判明した周辺住宅13件の損害（亀裂拡大等）補償額算定委託料に約300万円。住民への補償は誠意をもって迅速に行うべき。しかし補償額確定後に割

合を協議するならいいが、すべき振動検査が十分なされず、最初から全額市が補償費負担すると明言している市の姿勢に疑問。なぜなら通常避けられない振動等であれば発注者（市）が負担するのは

工事約款もあり当然だが、工事中の振動測定は3日間のみ（H鋼55本中2本の打ち込み時と引き抜き時、地山補強土工時）。ダンパー搬入時等、損害の起因の中には工事期間中の振動にも要因があるにも関わらず、検査が十分と言えない上に、全額市が負担する前提の委託料を認めることは、市民の理解が得られない。



行政のいろいろな問題や施策に対する考え方について17名の議員が質問に立ちました。その内容については次のとおりです。（文責は各議員にあります。）

一般質問 文化財の保護・管理について 市制50周年記念事業について

いとう ひろし 議員

問 文化財等の保存は多くの方々に支えられており、大変感謝しております。文化財は、次世代へ歴史継承する大切な宝であります。そこで現在、唐竹小学校に開設している歴史民俗資料室と、保有する文化財等について、保管場所や資料室は手狭ではないですか。

答 若干、手狭さは感じています。限られたスペースの中で整理しながら管理しています。

問 唐竹小学校の一つの倉庫で管理することはできませんか。

答 唐竹小学校跡施設は子育て等の拠点施設になる予定ですが、全体のあり方も含めて検討していきます。

問 桶狭間古戦場跡地や戦人塚がある本市において、なぜ資料館が開設できないのですか。

答 跡施設の新たな資料室を資料館と捉えてリニューアルしていきたい。

問 文化財等の保存は多くの方々に支えられており、大変感謝しております。文化財は、次世代へ歴史継承する大切な宝であります。そこで現在、唐竹小学校に開設している歴史民俗資料室と、保有する文化財等について、保管場所や資料室は手狭ではないですか。

答 若干、手狭さは感じています。限られたスペースの中で整理しながら管理しています。

問 唐竹小学校の一つの倉庫で管理することはできませんか。

答 唐竹小学校跡施設は子育て等の拠点施設になる予定ですが、全体のあり方も含めて検討していきます。

問 桶狭間古戦場跡地や戦人塚がある本市において、なぜ資料館が開設できないのですか。

答 跡施設の新たな資料室を資料館と捉えてリニューアルしていきたい。

問 市制50周年記念事業にCSN

問 豊明市は令和3年に市制50周年を迎えます。過去には、地域で受け継いだ伝統文化を大切に、「健康長寿の街、住みやすい街、暮らしやすい街」を目指す中で、周年事業を行ってきました。各地域・各団体の連携、文化の伝承をより強くするため、伝統的祭りや市民参加による行事を50周年の節目に行うべきであると考え提案します。

行事計画はありますか。マラソン大会の実施、市内のお囃子太鼓を集結したの披露は可能ですか。

答 現在、ポッチャ大会やお囃子太鼓の集結、マラソン大会、コンサートなどができな

いか検討して

います。

一般質問

木造住宅の耐震化について 各家庭のごみ出し方法について

服部 龍一 議員



木造住宅の耐震化について

問 市内に旧基準の昭和56年5月31日以前に工事着手した木造住宅は何件ほどありますか。

答 平成26年1月1日時点で約5400戸です。

問 耐震補強された住宅は何件ありますか。

答 補助を受けて耐震改修工事を行った住宅は3200戸です。

問 無料耐震診断のPR方法はどのようにしていますか。

答 ホームページや広報に案内を掲載し、平成20年度から耐震診断ローラ作戦として、耐震改修促進計画の重点的に耐震化を進める区域で戸別訪問を実施しています。

問 重点的に耐震化を進める区域とは。

答 建物の倒壊の危険性が高い地区、火災による市街地の延焼危険度の高い地区などです。

各家庭のごみ出し方法について

問 ごみの分別が適切になされていない事例はどれくらいありますか。

答 不適切なごみの平成30年度の件数として把握しているものは約2300件ありました。

問 今後、さらなるごみの減量への対策及びPR方法について。

答 広報にて毎月、「教えてマツタマン！」でごみの減量について紹介しています。また、市民の方との減量についての意見交換会や子どもたちへの環境学習の場を設けており、今年度は11月まで30回、1812名の方に直接話をしました。



一般質問

民生委員・児童委員のサポート体制の強化を 破壊的な暴風・豪雨災害から市民の命と財産 を守るために

ふじえ 真理子 議員



問 委員が抱えている課題をどう把握しているか。

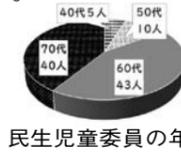
答 活動負担の増大、後任者選任に苦慮していることは認識している。

問 新任の方の助けになる具体的な対応例等、豊明版活動内容Q&A冊子を作成、配布する考えは。

答 研修時に全国版手引書が配られる。独自に作成する考えはない。

問 委員をサポートする民生委員協力員制度導入の検討を。

答 民生児童委員協議会の主体性を尊重しつつ、先進事例を研究していく。



問 超大型台風が愛知県西部を襲った場合、本市での被害（浸水）想定シミュレーションはしたか。

答 していない。

問 破壊的な暴風・豪雨災害から市民の命と財産を守るために。

答 していない。

問 東海豪雨後、3つの排水機場の浸水対策は。

答 主ポンプ設備や制御盤を1m以上高く設置したが停電した時は止まる。

問 新基準でのハザードマップを来年の台風時季までに早急に作成すべき。

答 県からのデータを基に改定するので間に合うかはわからない。

問 三崎池のため池ハザードマップも作成すべき。

答 流出抑制施設に改修し農業用ため池でないため、作成する考えはない。

問 今後の水害に対して根本的対策をどう図るか。

答 市民の生命の安全確保が第一。空振りを恐れず早めに避難勧告を出す。

問 盛り土をする際の補助制度の創設と、市北部の水田従事者の協力を得る。

答 豪雨予想時には稲刈後の田で雨水を一時保留する補助制度の創設を求める。

問 近隣市町担当者との引き続き検討していく。

問 盛土をする際の補助制度の創設と、市北部の水田従事者の協力を得る。

答 豪雨予想時には稲刈後の田で雨水を一時保留する補助制度の創設を求める。

問 近隣市町担当者との引き続き検討していく。

問 盛土をする際の補助制度の創設と、市北部の水田従事者の協力を得る。

答 豪雨予想時には稲刈後の田で雨水を一時保留する補助制度の創設を求める。

問 近隣市町担当者との引き続き検討していく。

一般質問

がん対策について

青木 亮 議員



問 がん予防の推進をこれまでどのように行ってきたのか。

答 がん検診の受診率向上のため、市民への周知を市のHPや広報紙への掲載だけでなく、節目の年齢の方には個別案内通知をし、さらに、はつらつ健診や特定健診の案内を医療機関方式の方などにも個別に送っている。受診しやすくするため、半日で終了できるように実施し、平日受診できない方のために土曜日の検診日も増やし、また集団健診の日程に合わない方のために医療機関方式も実施している。

問 がん検診の質の向上についての取り組みは。

答 がん検診の質の向上に一番効果があるのは、医師のがん検診に関する知識の向上であり、医師会ではがん検診に関する勉強会の開催や県が主催するがん検診の研修会に参加し向上を図っている。

問 藤田医科大学病院内にがん相談支援センターがあるが、市のがん相談窓口はあるか。

答 がんに特化した相談窓口はないが、保健センターで随時受けている。

問 がん患者の抗がん剤治療などでの外見の変化をケアし、社会参加を後押しするピアランスクエアについてどのように考えているのか。

答 外見の変化に伴う精神的苦痛を和らげ、がんになってもその人らしい生活を支える役割を果たすものと理解する。

問 外見ケアとしてウィッグ購入費の助成を始めた自治体があるが、市として助成の考えはあるか。

答 先進自治体の取り組みなどを研究したい。

問 先進地事例もあるので支援事業を進められないか。

答 多くのニーズがあると思うが、まずは研究をする。

問 要歯科受診と診断された子ども受診率は80%、中学校は約30%。

問 虫歯が10本以上の口腔崩壊の子どもはいるか。

答 10名いる。

一般質問

公用車の事故について 子どもたちの歯の健康について 教育相談体制の充実について

近藤 善人 議員



公用車の事故について

問 過去5年間の事故件数と賠償額は。

年	件数	賠償額
26	7	67
27	9	14.5
28	11	—
29	11	22.5
30	11	80
元	5	50

(単位：万円)

問 事故原因について。

答 多くは後退時と狭いところでの接触。

問 保険について。

答 公的法人「全国市有物件災害共済会」へ加入契約者の事故により等級は変わらない。

問 事故のいきさつや職員名の公表の考えは。

答 職員名の公表はしていない。いきさつについては知らせている。

問 現状の把握はしているか。

答 検診が義務付けられており把握している。

問 子どもたちの歯の健康について。

答 検診が義務付けられており把握している。

問 要歯科受診と診断された子ども受診率は80%、中学校は約30%。

問 虫歯が10本以上の口腔崩壊の子どもはいるか。

答 10名いる。

一般質問

- ・ワクチン接種の助成について
- ・窓口改善について
- ・女性活躍の推進について

一色 美智子 議員



問 高齢者の肺炎球菌ワクチンの接種について。制度が複雑でわかりにくいいため、今年度65歳で未接種の方に再度通知を実施してはと考える。年度の後半で改めて勧奨通知を検討する。

答 子宮頸がん予防ワクチンの接種について。正しい情報を伝え、その上で対象者、ご家族に接種の判断をしていただくことが大切と考える。近隣市町等、情報提供をしている自治体の状況を確認して検討します。

問 子どものインフルエンザワクチンの接種助成について。

答 近隣市町では助成をしており、本市でも助成を行っているかと考える。

問 迅速に実施に向け検討してまいります。



問 高齢者の肺炎球菌ワクチンの接種について。制度が複雑でわかりにくいいため、今年度65歳で未接種の方に再度通知を実施してはと考える。年度の後半で改めて勧奨通知を検討する。

答 子宮頸がん予防ワクチンの接種について。正しい情報を伝え、その上で対象者、ご家族に接種の判断をしていただくことが大切と考える。近隣市町等、情報提供をしている自治体の状況を確認して検討します。

問 子どものインフルエンザワクチンの接種助成について。

答 近隣市町では助成をしており、本市でも助成を行っているかと考える。

問 迅速に実施に向け検討してまいります。

一般質問

- ・チャットボットによる自動応答サービスについて
- ・マイナンバーカードの普及について

近藤 千鶴 議員



問 実証実験の実施結果について。

答 7月から約3カ月間、5つの分野を対象に実施した。利用状況は、900名程度、概ね4700回の応答をした。若い世代が多いことがわかった。

問 自動応答サービスの今後について。

答 令和2年1月から本格実施を予定しているが、周知が不十分と考えており、ホームページや広報紙への掲載、転入時、乳児健診時等にPRしていく。問い合わせの内容を分析し、さらに内容の充実を図っていく。



問 申請を促進するために、豊明秋まつり、とよあけ花マルシェ、市民大講堂でPRした。市のホームページに「マイナンバーカードをつくりましょう」というページを掲載しており、スマートフォン版にも表示できるようにする。

問 取得申請の対応について。

答 市のタブレット端末で顔写真を撮影し、そのままオンライン申請してもらう方法の準備を進めている。市職員の予定取得率は10月末現在、47.1%。今後、庁内の掲示板等を使いPRしていく。

問 コンビニにおける証明書等の交付について。

答 初期導入に約4000万円弱かかるため、導入時期の検討には、窓口交付とコンビニ交付のコストを比較するなど、費用対効果の検証が必要と考えている。

一般質問

- ◇インクルーシブ教育（障がいの有無にかかわらず合理的配慮のもと、普通学級で学ぶ考え方）について
- ◇防災意識の向上について

堀内 ちほ 議員



問 現在、知的・精神の障がいのある子どもの実態は。

答 該当する子どもの保護者と学校、場合によっては教育委員会と話し合い、特別支援学校・特別支援学級、通級指導教室、通常の学級など、子どもにとって、よりよいと考えられる教育環境で学校生活が送れるように支援を行っている。

問 障がいのある幼児・児童・生徒が十分な支援を受けるための合理的配慮に向けた取り組みは。

答 特別支援学級は、1人でも設置ができるので、居住地の学校へ通学することが可能。全校ではないが、障がいに応じた特別の指導を行う通級指導教室を設置している。市の特別支援教育支援員を各学校に3〜6名配置し、通常学級で支援が必要な子どもに対する支援を状況に応じて行っている。

問 市は既に、障がいを持つ子どもに対し、手厚い指導をされているが、独自の取り組みなどは。

答 極力、学校の要望に合わせ、特別支援教育支援員を配置している。ハード面の整備として、手すりを付いたり、エレベーターを人荷共用に順次変えている。

問 各地区で、要支援者名簿を作成する地区防災理事の負担軽減対策は。

答 今年度から健康長寿課、社会福祉課、防災防犯対策課が連携協働で、地域の関係者と一緒に個別支援計画を策定する取り組みを始めている。

問 名簿は作るが目的ではなく、大災害発生時、要支援者の救出が目的のツール。定期的にメンテナンスされているか。

答 システムで管理しており、死亡者、転出者を随時反映し、年1回、市から地区に発信している。

一般質問

- ・小学校英語の教科化に向け、環境整備を求める
- ・東海豪雨の経験ふまえ治水対策に力入れよ
- ・税金で勧奨扱いの退職金優遇はやめるべき

ごとう 学 議員



問 小学校の外国語活動で、英語嫌いの子どもが増えている。老朽化した視聴覚機器の更新や、専科教員の増員を考える必要があると思うが。

答 電子黒板など計画的にやっていきたい。専科教員も考えたい。

問 教員免許のない外国人A-LTが主になって授業をするのは、学校教育法上問題がある。そういうことのないよう、教委で学校に徹底してほしい。

答 しっかりやっていきたい。

問 治水対策の課題は

答 東海豪雨のあと策定された治水計画、雨水の下水道計画はどう実行されたか。

答 学校・公園などに水を溜めるオンサイト貯留は進んでいない。下水道計画の四公園の貯留槽、バイパス管も進んでいない。予算確保を進めたい。

問 自己都合退職を勧奨扱いにし、税金で優遇するのは、見直すべきではないか。

答 義務ではないが考えていない。

問 勧奨退職が必要か

答 勧奨退職は50歳代を対象に、退職金3〜400万円が上乗せとなる。若返りが進み、年齢構成を是正する必要はない。市の負担金はいくらか。

答 この5年間で13人、約4500万円である。

問 五年降雨の被害解消が目標でなかなか難しい。

答 しても五年確率だが、20年、30年に一度の雨が降ったら浸水してしまう。どう考えているか。



台風前に満水で溢れる濁池

一般質問

・市民提案型まちづくり事業について
・死角をつくる危険なバス停について
・「助けます」を意思表示するマークについて

鵜飼 貞雄 議員



問 道路の危険な状況は常に変化しています。日頃から状況を観察するよう心掛けつつ、利用者からの声にも耳を傾けて、

答 道路の危険な状況は常に変化しています。日頃から状況を観察するよう心掛けつつ、利用者からの声にも耳を傾けて、



危険なバス停

危険なバス停について

問 豊明市制50周年記念事業の一環で、市民提案型事業の事業拡大等のお考えは。
答 他市町の事例も参考に効果等を検証しながら検討していきます。

助けますマークについて

問 助けますマークの取り組みについて。
答 手助けが可能な支援者が携帯することにより、支援を求めやすくなることを目的に、各地で取り組みが進んでいます。支え合う社会づくりの一助になるとして評価されており。

問 東郷町にはサポートハートマーク配布プロジェクトがあります。当市でもこのような取り組みは可能でしょうか。
答 近隣地域で連携し拡大展開していくことで、支え合う社会づくりが進み価値があると考えます。サポートハートマーク配布プロジェクトとの連絡調整のうえ、周知・啓発など検討していきます。

問 細分化された農地保全についての方策は？
答 本市の遊休農地、耕作放棄地問題の原因の一つに、農業に従事したことがない方や不在地主への相続が考えられ、概ね4割強が何らかの委託を含め農業法人に頼っている。農地を保全していくために、カリフローレなど、できるだけ収益性の高い農産物を作っていたが、農業の維持に努めていきたい。

問 カリフローレを豊明ブランドにするための進め方は？
答 現在、カリフローレは国の新規野菜産地ブランド化事業補助金を受けている。市の広報でも特集を組んだ。JAと協力し、新規就農者の方にも栽培してもらおうなど、引き続き増産に向けて努力していきたい。

一般質問

チョイソコとよあけの現状と今後について
豊明市の農地と農業について

近藤 郁子 議員



問 チョイソコとよあけの利用状況と実証実験後の進め方は？
答 登録者数は1300人を超え、毎月増加傾向。月平均利用者も900名程度。65歳以上ならば利用できる事業と認識され始めた。来年度中の本格実施を目標に利用者の声に耳を傾け、各関係者と協議を重ねていきたい。

問 豊明市の農地と農業にCSJ
答 必要があれば増やしていくが、紙ベースの本に予算を導入する段階ではないと思っている。

問 ひまわりバスと比較して料金については？
答 ひまわりバス路線廃止に伴う運行だが、バスより多くの停留所の設置があり、乗車時間もある程度選択できる。安価な料金設定は他の公共交通機関への影響が想定されるため、バランスを考えた設定していきたい。

問 チョイソコは高齢者の外出支援なら介護予防の補助金は使えないか？
答 高齢者の外出支援という側面もあるため、福祉的な補助金等があれば、活用していきたい。

問 カリフローレを豊明ブランドにするための進め方は？
答 現在、カリフローレは国の新規野菜産地ブランド化事業補助金を受けている。市の広報でも特集を組んだ。JAと協力し、新規就農者の方にも栽培してもらおうなど、引き続き増産に向けて努力していきたい。

問 RPAはルール通りにパソコン業務を行う手作業の代替ツールです。導入に向けた取り組み状況をお聞かせください。
答 7月末に職員向けの研修会を実施。その後、業務改善提案を募集し、63件の提案があった。現在は選定中。

問 実際の取り組みはいつくらいか。
答 年内には取りかかりたい。

問 どの程度の費用対効果を見込んでいるか。
答 実際にやっているわけではないので、一定の効果は見込めると想定している。

問 プログラムは職員でつくるのか、外注か。
答 職員でつくる方向で考えている。

問 周辺の市と比べると本市の図書購入費が低い。今後、予算を充てていく考えはないか。
答 必要であれば増やしていくが、紙ベースの本に予算を導入する段階ではないと思っている。

一般質問

AI・RPAなどの活用による効果的かつ効率的な行政経営を求めて
豊明市の図書館の充実を要望する

林 ゆきひろ 議員



一般質問

市道桜ヶ丘沓掛線について
～開通後の影響、渋滞対策は～

清水 義昭 議員



問 平成31年2月に市道桜ヶ丘沓掛線の栄町内山交差点から南下原交差点まで約260メートル区間が開通し、供用を開始した。経過と経緯は。
答 昭和40年に都市計画決定した。今回開通部分の総額は、約26億8900万円。本路線の改良率は93.9%。豊明市全体の都市計画道路の改良率は78.2%となった。

問 近隣への影響は。
答 抜け道として使用されていた道路の交通量が激減し、地域住民の安全確保につながった。また、市道大脇大根線の通り抜けができなくなった。

問 渋滞についての見識は。
答 開通直後には南下原信号交差点で、大脇大根線に右折する車両の渋滞が特に夕方に発生していた。今後、再度交通量調査を実施し、検証していきたい。右折矢印や時差式信号ということも今後の方向性になると思われる。

問 開通に伴い豊明市に乗り入れることとなった大府市のふれあいバスの前後駅停留所は、なぜ南口としたのか。
答 北側ターミナルは容量がほぼ満杯で乗り入れが難しいことや、駅付近の渋滞の影響を軽減するため。

問 残された課題は。
答 側道の一部分の土地が未買収で行き止まりとなっている。買収し、つなげられるよう努力していきたい。

問 トンネル上部の緑地の完成予定はいつか。
答 令和元年度末。



現在整備中の新緑地



問 授乳室がないと聞いた。改善できないか。
答 トイレの改修の時に検討していく。

問 コピー機で私物のコピーは許可できないのか。
答 ニースを考慮して検討に入る。

問 アンケート調査は行っているのか。
答 そういったものは少し不足しているので、アンケートや意見箱などを検討している。

問 図書館にそういう意見は届いていないので、今すぐ延長は考えていない。
問 アンケート調査は行っているのか。
答 そういったものは少し不足しているので、アンケートや意見箱などを検討している。

一般質問

①花であふれる豊明市をめざして ②高齢者が求める市に対する遺産相続について

月岡 修一 議員



問 ①花であふれる豊明市をめざして。10月19日に星城高校や豊明高校の生徒や市民のボランティアの方々が市内に花を植えてくれました。この機運を大切にしたい。花のまち豊明の実現に向け、見解を求めます。

答 実現に向けて引き続き取り組んでいきます。

問 市の協力を仰ぐことは可能ですか。

答 花壇作りのための場所を公園などから提供することが可能です。

問 全市民が参画していただけるような組織作りには挑まなくてはなりません。側面的な協力は可能ですか。

答 フラワーボランティア制度を活用していただければと考えています。

問 市内の花き市場には花の知識において日本の理事長がいらっしゃる。ご指導、ご協力をお願いしていただけますか。

問 ②高齢者が求める市に対する遺産相続について。

答 高い知見と経験をもとに協力をお願いしてまいります。

問 高齢者のご家庭の事情により、住んでいる土地と母屋の相続ができない方がいらっしゃる。住み慣れた終の棲家を、土地を含めて市に寄附したいと希望されています。現在の豊明市の条例や法規の中で寄附を引き受けてもらうことは可能ですか。

答 本市においては原則行政目的で使用する予定のない土地の寄附については受け入れをいたしません。法整備がないのが現状です。今後、生前の相続対策の必要性を周知して、慎重に研究してまいります。



一般質問

子育て支援センターの今後について 幼保無償化のさらなる拡大を求めて

中村 めぐみ 議員



問 子育て支援センターの今後について。

答 支援センターが移り、それぞれの地区の今後は、まずは、中心となる支援センターの機能強化。その後、全体の中でどのように利用できるか、検討の過程。

問 唐竹小跡地移設後、現在問題点と言われている部分のうち、施設の狭さは改善されるか。

答 実現できると思う。

問 駐車場不足は改善されるか。

答 支援センター専用ではないが70台確保。

問 開設時間と曜日は。

答 これから検討する。

問 外遊びできる場所と遊具は。

答 ある程度実現できる方向で検討。

問 新しい子育て支援センター、サービス向上のため市民から意見や要望はどのように聞くのか。

答 1月の広報で意見を募集。

問 幼保無償化のさらなる拡大を求めて。

答 無償化を拡大する考えは。

問 今のところは。

答 本市にある5つの保育料軽減、減免制度から、同時入所の場合の2人目半額を無料にしては。

問 検討に至っていない。

答 検討に至っていない。

問 市民税所得割合算額5万7700円未満世帯で子どもが2人以上いて、第2子が入所の場合の半額を無料にしては。

答 検討に至っていない。

問 子育て世帯の魅力のために取り組んで。

答 低所得の方々の負担軽減は大事。一方で一般的な収入の方々はそれなりに負担していただくことも理念として残っている。バランスを見ながら考えていくべきこと。

一般質問

名古屋市の消防長が表明した広域化の検討について 子どもの虐待を生まない取り組みは

郷右近 修 議員



問 消防・救急事業の広域化について。

問 県内の他の組合などが名古屋市消防事務委託を行う考えが示されているが、消防長会議での議論は？

答 令和元年10月16日に愛知県消防広域化検討会が開催され、組織構成、検討内容、スケジュールが示された。また、幹事会が設置されたが、事前アンケートの結果が示されたものの、協議は始まっていない。

問 行政において事務委託というものの位置づけは？

答 普通地方公共団体の事務の一部の管理執行を他の地方公共団体に委ねる制度。委託団体は当該事務の執行管理権限を失い、法令上の執行責任は受託団体に帰属するものと考えられる。ただ、広域化での協議は始まっていない。

問 子どもの虐待を生まない取り組み。

問 児童相談所はどういった位置づけの機関か。

答 市町村と連携を図って子どもに関する家庭からの相談に応じ、援助を行うって福祉権利を擁護する機関。都道府県と政令指定都市に設置義務があり、平成18年からは中核市にも設置できる。

問 子ども虐待防止の課題は何か。

答 国は、妊娠の届け出や乳幼児健診等が市町村が親や子どもと接する機会になっているので、母子保健施策と虐待防止対策の連携強化を指示している。市ではSOSをキヤッチするネットワーク強化、妊娠からの切れ目ない支援、育児負担を軽減する支援が必要と認識している。

一般質問

市で働くパートさんの制度が変わります ……総額 約1億1400万円増額…… 台風19号と同程度の豪雨が襲ったなら！

宮本 英彦 議員



問 法の改正により2020年4月から非正規職員は会計年度任用職員へ移行する。本市の会計年度任用職員の報酬等の取り扱いはどうなるのか。

答 類似する職務の正規職員と同じ給料表を使用。学歴と経験加算を加えた号給を適用するが上限を設ける。また、1週の勤務時間平均20時間以上の方は期末手当も正規職員と同じ月数で支給する。時間外も休日勤務手当も支給する。

問 会計年度任用へ移行した場合、報酬額はどの程度増加するのか。

答 現時点で約8100万円。社会保険料の事業主負担額が約3000万円増額となる。

問 合計1億1400万円の増額は重い、どう捻出するのか。

答 各組織団体への交付金、補助金についても必要に応じ見直すが、現時点ではまだ具体的な検討に入っていない。

問 今回の台風19号のような豪雨が豊明市を襲った場合、境川や三崎池が決壊しないか。

答 想定外の集中豪雨が起きてるので境川が決壊しないとは言いがたい。三崎池も耐震性能は備えているが氾濫・決壊する可能性はある。

問 本市の災害情報伝達手段は近隣市町と比較すると遅れていないか。

答 Lアラートに加え、令和2年度に9基の同報無線を境川沿岸地域などへ設置する。

問 同報無線の屋外スピーカーは聞こえない。市民への防災ラジオの貸し出しを提案する。

答 近隣市町の状況等も確認し、研究する。



三崎池と三崎小学校の屋根

健康福祉委員会行政視察

視察日：令和元年10月1日～2日
視察先：山梨県山梨市・長野県松本市

委員長 鶴飼貞雄 副委員長 月岡修一
委員 服部龍一 堀内ちほ 中村めぐみ
郷右近修 近藤善人

①山梨県山梨市：宿泊型産後ケア事業について
山梨市駅南地域整備事業に伴い、民間の産科医療施設が移転を余儀なくされたことから、山梨市立産婦人科医院開設に向け協議が開始された。
平成29年6月に「山梨市立産婦人科医院」が公設民営で開院され、医療法人が指定管理者となり運営している。
山梨市の宿泊型産後ケアは、ここ数年一定の実績がある背景には利用者にとって安心できる環境が整っており、子育て支援策は利用者から評判も良いことから、当市でも多くの方に求められるケア事業とは何かを考えていく必要がある。



②長野県松本市：健康づくりに係る取り組み等について
平成22年度に策定した総合計画では、目指すべき将来の都市像として「健康寿命延伸都市・松本」を掲げた。
大学や企業等との連携を重視しており、がん検診啓発やコンビニでの健康相談、講演会などの実施、認知症予防など積極的な事業展開をしている。
健康づくり推進員や食生活改善推進員などが、学んだことを地域へ広げるシステムが構築されており、松本市が地域力を重視し取り組んできた多くの事業の成果がこのように形となって表れており、長野県が平均寿命など全国トップクラスにいる要因の一つであると考えられる。
今後は松本市のように市民が主体となり事業展開をし、行政はサポートにまわるスタイルが中心となっていくのであり、と実感した。

友好自治体（豊根村）議員合同研修会

令和元年9月30日

意見交換会では、豊明市の議員からの質問に対し、観光農業やジビエ料理などを検討している。新たな観光資源として期待されるキャビアを産卵するチョウザメの養殖は7年目になり、採卵には



視察の様子

令和元年9月30日、豊根村議会の皆さんと伊藤村長を迎え、友好自治体議員合同研修会を開催しました。
午前10時半より藤田医科大学病院を視察し、湯澤由紀夫病院長より病院経営の説明などを受けました。施設を見学した後、豊明団地にある「まちかど保健室」を視察。午後からは豊明市役所で意見交換会を行いました。



10年かかるといわれているが、今冬から採卵を始める。茶臼山高原に新たに加わった花「サンパチエンス」については、単年度で終わらせず継続を検討中、との回答でした。
豊明市からは、夏休みに開催している中学生イングリッシュキャンプを通して、互いにならないものを交換するという観点で考えたい、などの意見交換が行われました。
終わりに、お互いのまちの発展と、今後の友好を確認し合い、会を閉じました。

建設文教委員会行政視察

視察日：令和元年10月8日～9日
視察先：大阪府大阪市福島区・大阪府和泉市

委員長 清水義昭 副委員長 近藤千鶴
委員 いとうひろし 林ゆきひろ
近藤ひろひで 宮本英彦 近藤郁子



和泉市議会本会議場にて

①大阪市福島区（鷺洲小学校）：小学校3・4年生補習学習会について
学力の2極化を解消するため、算数では掛け算、国語では抽象表現などによりつまづきやすい小学3・4年生を対象に、放課後補習学習会を行っている。
○主な特徴は、
・小学校の教室で行う
・教材費、授業料不要
・講師1人に児童5人と少人数制の落ち着いた学習環境を構築
・授業の復習が中心
・プロポーザルによる委託で実施
○本事業の成果は、
・児童の家庭での学習習慣が定着している
・学校は教室を貸すだけで実施
・児童の家庭での学習習慣が定着している
・児童の家庭での学習習慣が定着している

②大阪府和泉市：観光振興施策について
大阪府には多くの観光施設があるが、市の観光客数は伸び悩み、恩恵が薄いことから観光振興プランを策定、実行した。
○主な特徴は、
・駅前観光おもてなし処の設置
・クーポン付観光マップ作成
・観光看板、トイレ洋式化等観光地の整備
・観光ウェブサイトを構築
・土産物開発
○本事業の成果は、
・策定前と比べ観光客数が増加したこと
・プラン作成過程で観光振興事業の棚卸しが行われている等、参考箇所が多く、本市においても活かしたい。

総務委員会行政視察

視察日：令和元年10月10日～11日
視察先：宮城県石巻市・岩手県花巻市

委員長 毛受明宏 副委員長 ふじえ真理子
委員 ごとう学 青木 亮 一色美智子
三浦桂司



①宮城県石巻市：東日本大震災発生直後の初動対応及び新体制づくりについて
◆地震規模M9.0、震度6強を観測。初動対応に当たったべき職員1640人の内、35人が犠牲、行方不明者は13人。市役所周辺も津波による浸水で寄り付けず、災害対策本部会議を開くことができたのは夜10時。避難所体制も整わず、3日間は職員を派遣できなかった。
◆議会については、臨時議会を6日間開催。予算、条例、国・県への要望を速やかに決定した。議会対応方針を作成し災害情報収集、避難所誘導などに徹して住民と行政との間に
◆更に、自立した市民主体の地域社会実現のためにコミュニティ地区条例を制定。人的、財政的援助を進めてきた。課題は担い手不足とのこと。
◆本市の共通課題でもある、地域コミュニティの持続性には人材育成が重要なキーワードとなる。

②岩手県花巻市：地域コミュニティを活用したまちづくりについて
◆平成18年の市町合併により市域が広域化。地域と行政との距離を埋めるため、前市長のマニフェスト「小さな市役所構想」を基に地域の自主的なまちづくり組織として、27地区にコミュニティ会議を設置している。



石巻市役所前

議会報告会2019の報告

第1部 【委員会報告】 3常任委員会からの報告
第2部 【意見交換】 3グループに分かれての意見交換
日時：令和元年11月23日（土）午前10時～11時30分
会場：中央公民館ホール 参加者：第1部 53人、第2部 36人

今年度の議会報告会でいただいたご意見とアンケート結果を紙面都合上一部になりませんがご報告いたします。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。ございました。

第1部 常任委員会報告 主な内容

総務委員会

- ①災害対策関連
- ②チヨイソコとよあけ

健康福祉委員会

- ①幼児教育の無償化
- ②利用者増による児童クラブの整備

建設文教委員会

- ①小中学校のエアコン設置工事
- ②勅使グラウンドの改修
- ③公共施設利用料の改正

第2部 意見交換

総務委員会

●歴史・文化や医療などが意見交換しやすい。

健康福祉委員会

●児童館で、高学年が利用できなくて困っている。



まちの資源を有効活用した総合的なまちづくりとその魅力の積極的発信を。●チヨイソコについて、土日祝が休み、9時から16時までなど使い勝手には問題がある。●防災同報無線の音は大丈夫か。確実に情報が伝わるように工夫を。●東海豪雨後、正戸川右岸は補強済みだが左岸が心配だ。●AEDを老人憩いの家の外へ出したら盗まれた。各町内への防犯カメラ設置の更なる研究を。●桶狭間古戦場を観光地とするなら、観光バスの駐車場整備と資料館もほしい。



●消費税率改定による増額分の使途をはっきりしてほしい。●市は業者を監督指導できる力を持ってから指定管理していただけますか。●身体障がい者に渡されるタクシー券を同時に複数枚使えるようにしてほしい。●幼保無償化に伴い、市独自の施策を考えるべきだと思う。●子育てしやすい街をアピールしてみてもいい。●子ども食堂の必要性を周知しボランティアを募集してほしい。また、参加者が多く、場所も狭くなってしまっている。●歩道にあるけやきの根が上がってきている。けやきは街路樹とせず、シンボルとして示すだけでよいのではないかと。●公園のフェンスに穴があいたまま。時計もずれている。市は公園の管理をしっかりしてほしい。●空き家の問題で付近住民が困っている地域がある。空き家となり5、6年経ったら固定資産税を引き上げるなどの対策をしてほしい。●図書館、豊明中学校、三崎小学校の一体整備の意見交換会で、発言が図書館周辺住民に限られているのはおかしい。

建設文教委員会



●図書館、豊明中学校、三崎小学校の一体整備の意見交換会で、発言が図書館周辺住民に限られているのはおかしい。

アンケートから

報告会への参加は？

初めて 15人
2回目 6人
3回目以上 10人

第1部について
よかった○ 14人
どちらとも言えない△ 7人
よくなかった× 3人

第2部について

よかった○ 11人
どちらとも言えない△ 8人
よくなかった× 2人

◎その理由について
◆思っていたことが発言できた。
◆時間が不足。
◆部屋が分かれていた方

自由記述欄

◆初めての参加。今後も参加したい。
◆議員と市民が討論できるいい機会。今後も広めてほしい。
◆防災の件、非常に良かった。
◆第1部も質問・要望の時間があった方がよい。
◆議員に勉強してほしい。
◆無意味だった。

貴重なご意見をいただきました。議会として調査・研究の必要があるものは、今後、検討していきます。

議会報告会の詳細は、議会ホームページをご覧ください。

豊明市自主防災組織連合会理事との意見交換会

令和元年11月12日、豊明市自主防災組織連合会の家田会長始め21名の理事との意見交換会を開催しました。

議題は(1)議員と地域が災害時に果たす役割について (2)今後の自主防災活動について 意見交換をいたしました。

意見交換では、次のような意見がありました。

○防災理事は区長、副区長の経験者が多いため区長をサポートすることが大切。

○要支援者サポートが8区で取り入れられているが、各地区の状況はどうか。阿野区では7年前から取り組み、毎年支援者会議を開催し名簿の見直しが進められている。

○要支援者の把握は、民生児童委員と一体で行うことが必要。

星城高等学校との意見交換会

令和元年12月6日、星城高等学校仰星コース1年生との意見交換会を開催しました。

豊明市議会議長、星城高等学校校長の挨拶で始まり、市議会の活動報告、星城高等学校SGL活動（スーパードローカル・リーダー育成活動）の報告後、意見交換会の議題に入りました。

(1)少子高齢化の実態について
(2)多文化共生について
(3)魅力あるまちづくりで生徒が果たす役割について



それぞれの議題で活発な意見交換ができました。その中で「月に何回か、外国人と日本人が交流する場を設けてほしい」「外国語表示をもっと増やしてほしい」「学生が参加できる企画が少ない気がする」「SNSを活用して地域の方にSGL活動を広げたり、呼びかけにも活用したい」「自転車専用道路を設けてほしい」等の学生からの貴重な意見をいただきました。

令和元年 議会の活動状況

●議会活動の概要

豊明市議会では平成24年に議会基本条例を制定し、通年議会を実施しています。令和元年5月15日から令和2年4月28日までの350日間は令和元年定例会の会期となっています。このほかに「議会運営委員会」や「全員協議会」なども随時開きました。

また、平成31年1月1日から令和元年12月31日までに議会で審議した議案は、市長提出案件が111件、議員提出案件が9件であり、提出された請願が4件、陳情が7件でした。

1. 本会議開催状況

会 議 名	会 議 名	日 数	本会議日数	傍聴者数
1 月 緊 急 議 会	1月28日	1日	1日	0人
3 月 定 例 月 議 会	2月22日～3月19日	26日	6日	21人
開 会 議 会	5月15日	1日	1日	2人
6 月 定 例 月 議 会	6月4日～6月27日	24日	6日	58人
8 月 緊 急 議 会	8月6日	1日	1日	2人
9 月 定 例 月 議 会	8月28日～9月26日	30日	6日	48人
1 2 月 定 例 月 議 会	11月27日～12月20日	24日	6日	22人
合 計		107日	27日	153人

2. 委員会等開催状況

委 員 会 名	開催数
常 任 委 員 会	23回
特 別 委 員 会	9回
議 会 運 営 委 員 会	31回
全 員 協 議 会	11回
会 派 会 議	14回
常任・特別委員会 行政視察	6日
その他の会議	62回

3. 議決状況

市 長 提 案			議 員 提 案		
地 方 自 治 法 第 9 6 条 関 係 (15号を除く)	条 例	48件	条 例		1件
	予 算	32件	規 則		0件
	決 算	10件	修 正 議 案		1件
	そ の 他	8件	意 見 書		5件
	専 決 承 認 案 件	0件	決 議		1件
そ の 他 (人 事 案 件 等)	13件	そ の 他 (動 議)		1件	
合 計	111件	合 計		9件	
議 決 状 況	可 決	97件	議 決 状 況	可 決	7件
	修 正 可 決	0件		否 決	2件
	否 決	0件			
	認 定・同 意 等	10件			
	撤 回 承 認	2件			
	継 続 審 査	0件			

※合計と議決状況が合わないのは、撤回が2件あるため。

3月定例月議会の開催日程(予定)

2月25日(火) 本会議(議案上程・提案説明)	3月 9日(月) 本会議(議案質疑・委員会付託)
2月26日(水) 本会議(一般質問)	3月10日(火) 総務委員会
2月27日(木) 本会議(一般質問)	3月11日(水) 健康福祉委員会
3月 2日(月) 本会議(一般質問)	3月13日(金) 建設文教委員会
3月 4日(水) 本会議(一般質問)	3月16日(月)・17日(火)・18日(水) 予算特別委員会
3月 5日(木) 本会議(一般質問)	3月24日(火) 本会議(委員長報告・討論・採決)

※本会議・委員会とも午前10時より開かれます。
上記は予定のため、変更される場合があります。
詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。
電話 0562-92-1121

※次回の議会だよりの発行は5月1日です。